

大地震などの災害発生時には・・・

住民の安全確保

余震による二次被害を防止するため、
早期に現地入りして被災地内の全ての建物を調査します。
被災地以外の地方自治体からも応援職員を派遣します。



東日本大震災（2011年）
宮城県多賀城市への応援



近年の職員採用状況

採用年	受験者数	一次合格者数	一次倍率	最終合格者数 (女性)	うち 民間経験者	最終倍率
H28	13	5	2.6	5 (1)	3	2.6
H29	8	4	2.0	3 (1)	0	2.7
H30	7	3	2.3	1 (1)	0	7.0
R01	4	3	1.3	1 (0)	1	4.0
R02	8	5	1.6	3 (0)	0	2.7

- ◎建築職員66名中、17名が女性（25.7%）となっており、近年は女性職員の割合が増加
- ◎39歳まで受験可能となっていることから、民間経験者（転職）が増加
- ◎近年は団塊世代の入れ替わりで若手職員の割合も増加

主な出身大学

- ・新潟大学
- ・東北工業大学
- ・宇都宮大学
- ・東京理科大学
- ・東北芸術工科大学
- ・東北大学
- ・千葉大学
- ・山形大学

ほか

勤務先と配置人数

- ・県庁（山形市松波） 33名
- ・村山総合支庁（山形市鉄砲町） 11名
- ・最上総合支庁（新庄市金沢） 5名
- ・置賜総合支庁（米沢市金池） 8名
- ・庄内総合支庁（三川町大字横山） 9名

※インターンシップ等の問い合わせ先 県土整備部建築住宅課 企画担当 TEL 023-630-2637



山形県

山形県職員「建築職」案内

2020



山形県農業総合研究センター園芸農業研究所

建築の専門職（プロフェッショナル）として すべての人が安全・安心に生活できる 世界をつくる

営繕 【公共建築物の整備、維持管理】

- 県有施設の整備
 - ➔ 学校、庁舎、文化施設等の発注、設計、工事監理
- 施設の維持保全
 - ➔ 劣化度の点検や修繕個所の調査、長寿命化計画
- 施設の長寿命化
 - ➔ 耐震改修、リニューアル等により長く利用



山形県総合文化芸術館



山形県農業総合研究センター

山形県農業総合研究センター
地上2階/木造+RC造+S造
延床面積3,947㎡/事業費10.5億円

山形県総合文化芸術館
地上5階地下1階/SRC造+RC造+S造
客席 2,001席 / 延床面積 16,132㎡
総事業費 148億円



県土整備部
建築住宅課営繕室
技師 佐藤 泉吹
(平成30年度採用)



山形県総合文化芸術館

建築行政 【すべての建築に関する許認可】

- 建築確認・建築許可・開発許可
 - ➔ 民間建物が建てられるエリアや性能を法律で規制
- 建築士・宅地建物取引士
 - ➔ 独占資格を与えることで法規制の有効性をUP
- 市街地再開発等
 - ➔ 中心市街地活性化のため、民間建物の整備を補助金により誘導



県土整備部
建築住宅課
技師 加藤 隆幸
(平成29年度採用)

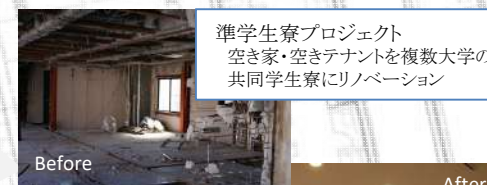


市街地再開発事業
(山形市七日町第5ブロック地区)
地上20階/延床面積16,000㎡
マンション144戸+商業施設
事業費56.9億円/補助金17.2億円



住宅行政 【住宅関連施策】

- 住宅のセーフティネット
 - ➔ 公営住宅の整備管理、高齢者向けサービス付き住宅
- 安全な住環境の確保
 - ➔ 民間建築物の耐震化、狭隘道路の解消、空き家対策
- 暮らしやすい住まいの実現
 - ➔ 省エネ化、高気密高断熱化、バリアフリー化
- 木造建築の担い手育成
 - ➔ 減少する大工職人の確保、県産木材の利用促進



Before



After

準学生寮プロジェクト
空き家・空きテナントを複数大学の
共同学生寮にリノベーション



やまがた健康住宅
ヒートショック対策として高気密高断熱
住宅を県が認証して補助する制度



県営住宅北新町団地(PFI)



県土整備部
建築住宅課
技師 鈴木 絢
(平成29年度採用)